

20 年以上の症状とリバウンドを経て皮膚状態が変化した成人アトピーの経過 (26 歳女性)

症例 ID：001-20-IAk | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後 3 か月頃から頭に湿疹があり、中学時代には額や頭皮の症状、高校時代には顔症状が出るようになりました。

高槻の医大や滋賀医大などを受診し、大量のステロイドを使用した時期がありました。ステロイドをやめた際には顔が腫れ、じゅくじゅくして 2 週間眠れないリバウンドも経験しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	高校期以降にステロイド外用薬を多く使用しました。飲み薬による治療歴もあります。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	高校期から来院前まで断続的に長期使用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、漢方治療へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 3 か月頃	来院前	頭に湿疹ができ、幼少期から皮膚症状が続いていました。
中学～高校期	来院前	額、頭皮、顔に症状が出るようになり、ステロイド治療を受けました。
ステロイド中止後	来院前ピーク	顔が腫れ、じゅくじゅくし、2 週間眠れない状態を経験しました。
松本医院受診後	治療開始	漢方治療を開始しました。
治療開始 2 週間頃	初期反応	顔が腫れ、首のかゆみが出始めました。
1 か月頃	リバウンド期	足の付け根や腕にも症状が広がり、かゆみ、リンパ液、不眠が強くなりました。
2 か月半頃	回復傾向	リンパ液が出なくなり、足の表面がつるつるしてきました。
3 か月頃	経過後	久しぶりに会った人から皮膚状態の変化を指摘されるようになりました。
1 年半後	経過後	まだかゆみやしみは残るものの、薬を塗っていた頃に比べると我慢できる状態になりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 1 か月頃に足の付け根や腕まで症状が広がり、リンパ液とかゆみで眠れなかった時期です。

5. 困りごと

- 顔の腫れや浸出液により、外見面と睡眠面の負担がありました。
- 長期のステロイド使用後で、リバウンドへの不安が強くありました。
- 治療開始後もかゆみや不眠があり、経過を見ながら続ける必要がありました。

6. 経過のまとめ

生後3か月頃から症状があり、高校期以降は顔症状とステロイド使用が続きました。治療開始後は顔の腫れ、首のかゆみ、腕や足への広がり、リンパ液と不眠を伴いましたが、2か月半頃からリンパ液が出なくなりました。

1年半後にはまだかゆみやしみが残るものの、薬を塗っていた頃に比べて過ごしやすくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。